
井原今朝男年譜

1949年（昭和24年）

1月 故井原幸男・たきの長男として長野市西和田二三九番地一号に出生

1967年（昭和42年）

3月 長野県長野高等学校卒業

4月 静岡大学人文学部人文学科入学

1971年（昭和46年）

4月 長野県公立学校教員長野県中野実業高等学校教諭

1973年（昭和48年）

10月 旧姓久保弘子（伊勢市宇治館町）と結婚

1978年（昭和53年）

4月 長野県屋代南高等学校教諭

1979年（昭和54年）

4月 東京大学史料編纂所内地研究員

1980年（昭和55年）

4月 長野県史通史編企画委員に委嘱

1982年（昭和57年）

4月 長野県史刊行会編纂委員（通史）に委嘱（～1991年7月まで）

1985年（昭和60年）

10月 高校教諭1級普通免許状取得

1987年（昭和62年）

4月 長野県須坂高等学校教諭

1988年（昭和63年）

2月 県立歴史館（仮称）展示等研究会委員に委嘱

4月 諏訪市史編纂臨時専門委員に委嘱（～1995年3月まで）

1990年（平成2年）

2月 信濃教育会より臨地講習地方史講師補佐に委嘱

1991年（平成3年）

4月 長野県教育委員会事務局指導主事（長野県立歴史館準備室, 1994年9月まで）

11月 長野市誌編纂委員会委員に委嘱（～2004年10月まで）

1992年（平成4年）

4月 国立歴史民俗博物館博物館史料調査委員に委嘱

7月 更埴市文化財保護審議会委員に委嘱

1994年（平成6年）

10月 長野県立歴史館専門主事（～1998年3月まで）

1995年（平成7年）

4月 新潟県上越市史専門委員（編集委員）に委嘱（～2004年3月まで）

1996年（平成8年）

3月 中央大学大学院 博士（史学）学位取得

1997年（平成9年）

2月 文部省無試験認定学芸員資格取得

1998年（平成10年）

4月 国立歴史民俗博物館歴史研究部教授

-
- 4月 長野市松代藩文化施設管理委員会委員に委嘱（～2006年3月まで）
- 1999年**（平成11年）
- 4月 総合研究大学院大学文化科学研究科教授併任
- 2000年**（平成12年）
- 4月 上越教育大学学校教育学部教授併任（～2001年3月） 集中講義
- 4月 國學院大學大学院講師（兼任）（～2010年3月まで）
- 4月 日本女子大学講師（非常勤）（～2005年3月まで）
- 9月 島根県教育委員会、歴史民俗博物館・古代文化研究センター展示アドバイザーに委嘱（～2003年3月まで）
- 2001年**（平成13年）
- 4月 東北学院大学非常勤講師に委嘱（～2002年3月まで） 集中講義
- 6月 長野市展示公開施設整備検討委員会委員に委嘱（2003年6月まで）
- 9月 信州大学長より信州大学特別研究員第二段階審査員に委嘱
- 2003年**（平成15年）
- 4月 千曲市文化財保護審議会委員に委嘱（～2014年4月まで）
- 6月 国立歴史民俗博物館運営協議委員（～2008年3月まで）
國學院大學大学院文学研究科博士論文審査員（副査）に委嘱
- 2004年**（平成16年）
- 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館研究部教授
- 4月 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館歴史資料センター長併任（2006年3月まで）
- 4月 千曲市文化財保護審議会会長（～現在に至る）
- 7月 国文学研究資料館共同研究委員会委員に委嘱（～2009年3月まで）
国立民族学博物館ミュージアムネットワーク運営会議委員に委嘱
- 8月 長野県文化財保護審議会委員に委嘱（2013年2月に至る）
- 2006年**（平成18年）
- 4月 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館研究総主幹に併任（2007年3月まで）
- 5月 千葉県文化財保護審議会委員に委嘱（～現在に至る）
- 2007年**（平成19年）
- 人間文化研究機構連携研究委員会委員に委嘱
- 2009年**（平成21年）
- 4月 大阪大学大学院文学研究科非常勤講師に委嘱（～2010年3月まで） 集中講義
東京大学大学院人文社会系研究科博士論文審査員（副査）に委嘱
- 8月 日本学術振興会特別研究員等専門委員及び国際事業委員会書面審査員に委嘱（～2010年7月まで）
- 2012年**（平成24年）
- 國學院大學大学院文学研究科博士論文審査員（副査）委嘱
- 2013年**（平成25年）
- 2月 長野県文化財保護審議会会長（～現在に至る）
- 2014年**（平成26年）
- 3月 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館、総合研究大学院大学を定年退職
-

井原今朝男研究業績目録

I 単著

1. 『日本中世の国政と家政』 校倉書房 1995/4 pp.1-598 重版 2006/9
2. 『中世のいくさ 祭り・外国との交わり—農村生活史の断面』 校倉書房 1999/9 pp.1-352
3. 『中世寺院と民衆』 臨川書店 2004/1 pp.1-310 増補版 2009/1 pp.1-365 重版 2013/5
4. 『中世の借金事情』 吉川弘文館 2009/1 pp.1-226
5. 『NHK 知る楽 歴史は眠らない ニッポン借金事情』 日本放送出版協会 2009/10 pp.1-94
6. 『史実中世仏教—今にいたる寺院と葬送の実像—第1巻』 興山舎 2011/3 pp.1-397
7. 『高井地方の中世史』 須坂市立博物館 2011/3 pp.1-291
8. 『日本中世債務史の研究』 東京大学出版会 2011/11 pp.1-422
9. 『中世の国家と天皇・儀礼』 校倉書房 2012/12 pp.1-418
10. 『史実中世仏教—葬送物忌と寺院金融・神仏抗争の実像—第2巻』 興山舎 2013/6 pp.1-413
11. 『室町廷臣社会論』 塙書房 2014/2 pp.1-602

II 編著・責任編集

1. 木村茂光・井原今朝男編『展望日本歴史 荘園公領制』東京堂出版 2000/5 pp.1-418
2. 国立歴史民俗博物館編『中世寺院の姿とくらし』山川出版社 2004/2 pp.1-237
3. 科研研究成果報告書『日本中世債務史の基礎的研究』研究代表井原今朝男 2006/3 pp.1-220
4. 国立歴史民俗博物館編『生業から見る日本史—新しい歴史学の射程』吉川弘文館 2008/3 pp.1-288
5. 井原今朝男・牛山佳幸編『論集東国信濃の古代中世史』岩田書院 2008/7 pp.1-416
6. 井原今朝男編『国立歴史民俗博物館研究報告』157集 「共同研究 中・近世における生業と技術・呪術信仰」2010/3 pp.1-297
7. 科研研究成果報告書『室町期禁裏・室町殿統合システムの基礎的研究』研究代表井原今朝男 2012/6 pp.1-264
8. 井原今朝男編『環境の日本史3 中世の環境と開発・生業』吉川弘文館 2013/3 pp.1-323
9. 井原今朝男編『生活と文化の歴史学3 富裕と貧困』竹林舎 2013/5 pp.1-558

III 自治体史・寺社史

1. 『長野県史通史編2 中世1』長野県史刊行会 1986/3 「鎌倉時代の社会」pp.266-439
 2. 『長野県史通史編3 中世2』長野県史刊行会 1987/3 「荘園制の解体と郷村の発展」pp.398-457
 3. 『長野県史通史編1 原始古代』長野県史刊行会 1989/3 「平安時代の社会」pp.666-700 pp.764-829
 4. 『戸隠信仰の歴史』戸隠神社 1997/5 pp.244 「顕光寺と修験道の発達」pp.35-60
 5. 『諏訪市史 上巻』諏訪市役所 1995/3 「大王政権と諏訪」pp.607-662 「中世のあけぼの」pp.833-858
 6. 古川貞雄・福島正樹・井原今朝男・青木歳幸・小平千文『新版 長野県の歴史』山川出版社 1997/3 「源平合戦から中先代の乱へ」「大塔合戦から川中島合戦へ」「信濃の中世社会と生活文化」pp.80-165
 7. 『長野県土地改良史第一巻 歴史編』長野県土地改良史編纂委員会 1999/3 「中世村落の形成と稲作の展開」pp.38-95
 8. 『長野市誌 歴史編 原始古代中世』長野市 2000/1 「北信濃の社会と生活」pp.568-615 「得宗の進出と幕府の滅亡」pp.618-647 「室町時代の郷村と国人」pp.748-799
 9. 『豊野町の歴史 豊野町誌2』豊野町誌刊行委員会 2000/3 「大田荘をとりまく地域社会の変貌」pp.173-193
 10. 『長野市誌 第12巻 資料編 原始古代中世』長野市役所 2003/3
 11. 『長野市誌 総集編』長野市役所 2004/10 「中世—善光寺進行の盛衰と地域社会の変貌」pp.164-223
-

-
12. 『上越市史 通史編 中世』上越市役所 2004/3 「海陸交通と越後府中」 pp.74-98

IV 論文

1. 「東国における公家領荘園の構造に関する一考察」『日本史研究』164 1976/4 pp.20-36
2. 「荘園制支配と惣地頭の役割」『歴史学研究』449 1977/10 pp.15-30
3. 「摂関家政所下文の研究」『歴史学研究』491 1981/4 pp.19-26
4. 「東国荘園における佃の一形態」『季刊中世の東国』5 1983/2 pp.1-10
5. 「山城と山小屋の階級的性格」『長野』110 1983/7 pp.14-20
6. 「信濃国伴野荘の交通と商業」『信濃』35-3 1983/9 pp.1-21
7. 「中世的所有に関する一考察」『日本史研究』260 1984/4 pp.32-51
8. 「日本中世史研究と地名の史料学的検討」『地名と風土』2 1985/5 pp.84-92
9. 「信濃の中世荘園遺構と城館跡」『信濃』38-3 1986/3 pp.1-21
10. 「中世国家の儀礼と国役・公事」『歴史学研究』560 1986/10 pp.76-87
11. 「東国荘園の替銭・借麦史料」『信濃』39-7 1987/7 pp.78-89
12. 「中世東国における非人と民間儀礼」『部落問題研究』92 1987/10 pp.33-56
13. 「中世善光寺の一考察」『信濃』40-3 1988/3 pp.19-30
14. 「中世城館と民衆生活」『月刊文化財』301 1988/10 pp.34-45
15. 「中世東国商業史の一考察」東国史研究会編『中世東国史の研究』東京大学出版会 1988/2 pp.357-378
16. 「信濃国・大田荘」網野善彦ほか編『講座日本荘園史5』吉川弘文館 1990/5 pp.268-301
17. 「阿蘇氏系図の諸問題」『諏訪市史研究紀要』3 1991/3 pp.31-54
18. 「中世の五節供と天皇制」『歴史学研究』620 1991/6 pp.14-32
19. 「中世の天皇・摂関・院」『史学雑誌』100-8 1991/8 pp.42-65
20. 「公家領」網野善彦ほか編『講座日本荘園史2』吉川弘文館 1991/2 pp.206-234
21. 「摂関・院政と天皇」石上英一ほか編『前近代の天皇第1巻』青木書店 1992/12 pp.67-105
22. 「いくさと民衆」『歴史評論』511 1992/11 pp.33-43
23. 「中世の国政と家政」『ヒストリア』137 1992/12 pp.113-133
24. 「諏訪社領に関する源頼朝下文について」『諏訪市史研究紀要』5 1993/3 pp.119-134
25. 「幕府・鎌倉府の流通経済政策と年貢輸送」永原慶二編『中世の発見』吉川弘文館 1993/4 pp.151-173
26. 「祭りはどうに行われていたか」関幸彦ほか編『新視点日本の歴史第4巻中世編』新人物往来社 1993/6 pp.280-285
27. 「民経記裏文書にみる信濃の造内裏役免除問題」『市誌研究ながの』1 1994/2 pp.1-8
28. 「旅の諸相・交流の場・各地を歩く人々」今泉淑夫ほか編『体系日本史叢書15生活史I』（共著）山川出版社 1994/7 pp.310-351
29. 「本所裁判権の一考察一殿下沙汰について」『日本歴史』547 1993/12 pp.19-38
30. 「信濃国小河荘に賦課された国衙年貢について」『市誌研究ながの』2 1995/1 pp.9-16
31. 「院政期の地方国衙財政と民部省濟事」『年報三田中世史研究』3 1996/10 pp.1-16
32. 「中世の国家構造と家政」『歴史評論』55 1996/11 pp.2-13
33. 「上杉景勝の朝鮮出兵と熊川倭城」『長野県立歴史館研究紀要』3 1997/3 pp.27-38
34. 「債務」竹内誠ほか編『方法 教養の日本史』東京大学出版会 1997/3 pp.125-140
35. 「市河文書の全巻複製と書誌学的検討」『長野県立歴史館研究紀要』4 1998/3 pp.38-53
36. 「荘園公領の支配」『今日の古文書学 第3巻』（共著）雄山閣出版 2000/1 pp.14-32
37. 「北条重時袖判奉書と訴陳状の裏花押」『日本歴史』622 2000/3 pp.90-94
38. 「中世の年貢未進と倍額弁償法について」『地方史研究』286 2000/8 pp.17-20
39. 「飛驒国」「信濃国」『中世諸国一宮制の基礎的研究』岩田書院 2000/2 pp.257-261 pp.263-274
40. 「宋銭輸入の歴史的意義」池享編『銭貨—前近代日本の貨幣と国家』青木書店 2001/5 pp.63-92
41. 「室町期の代官請負契約と債務保証」地方史研究協議会編『生活環境の歴史的変遷』雄山閣出版

-
- 2001/10 pp.45-77
42. 「90年代日本中世史の研究動向と課題」『歴史評論』618 2001/10 pp.17-31
43. 「中世史料にみる信濃府中」『松本市史研究』11 2001/3 pp.1-13
44. 「中世借用状の成立と質券之法」『史学雑誌』111-1 2002/1 pp.1-37
45. 「公家新制の公田興行令と得宗領の公田開発」『信濃』54-3 2002/3 pp.45-70
46. 「中世善光寺平の災害と開発」『国立歴史民俗博物館研究報告』96 2002/3 pp.141-193
47. 「室町期東国本所領荘園の成立過程—室町期再版荘園制論の提起—」『国立歴史民俗博物館研究報告』104 2003/3 pp.14-40
48. 「東国荘園年貢の京上システムと国家的保障体制—室町期再版荘園制論(2)—」『国立歴史民俗博物館研究報告』108 2003/10 pp.93-120
49. 「中世後期における債務と経済構造」『日本史研究』487 2003/3 pp.86-95
50. 「東北信濃地域の古代・中世史」古川貞雄ほか編『街道の日本史 北国街道』吉川弘文館 2003/4 pp.60-77
51. 「中世請取状と貸借関係」『史学雑誌』113-2 2004/2 pp.32-55
52. 「本間美術館所蔵『明月記』断簡について」『日本歴史』660 2003/5 pp.90-94
53. 「中世における信用経済と流通」pp.213-216 「割符と替文・替銭請取状・預状」『新訂増補週刊朝日百科』47 日本歴史古代7』2003/4 pp.213-216
54. 「災害と開発の税制史」『国立歴史民俗博物館研究報告』118 2004/3 pp.337-361
55. 「中近世移行期の「鉄炮之大事」「南蛮流秘伝一流」にみる技術と呪術」『国立歴史民俗博物館研究報告』121 2005/3 pp.1-43
56. 「中世の国衙寺社体制と民衆統合儀礼」『中世—宮制の歴史的展開』岩田書院 2004/12 pp.209-25
57. 「中世諸国—宮と神社史研究をめぐる論点」『国史学』182 國學院大學国史学会 2004/2 pp.56-60
58. 「蜷川真相の法楽和歌奉納と領主間ネットワーク」『日本史研究』515 2005/7 pp.1-27
59. 「日本中世の利息制限法と借書の時効法」『歴史学研究』812 2006/3 pp.1-17
60. 「中世の印章と出納文書」有光友学編『戦国期印章・印判状の研究』岩田書院 2006/7 pp.101-144
61. 「中世契約状における乞索文・圧状と押書」『鎌倉遺文研究』17 2006/4 pp.1-25
62. 「永原慶二氏の荘園制論の成果と課題」永原慶二追悼文集刊行会編『永原慶二の歴史学』吉川弘文館 2006/7 pp.114-133
63. 「中世の知と儀礼」総合研究大学院大学・松尾恒一編『歴史研究の最前線』7 2006/7 pp.6-43
64. 「中世儀礼における漢詩・管弦・和歌」国立歴史民俗博物館編『和歌と貴族の世界』2007/3 pp.65-80
65. 「信濃国大井荘落合新善光寺と一遍(上)」『時衆文化』16 2007/10 pp.1-25
66. 「後鳥羽院日記逸文と懸銭の流行」『日本歴史』714 2007/11 pp.71-81
67. 「鎌倉期の諏訪神社関係史料にみる神道と仏道—中世御記文の時代的特質について」『国立歴史民俗博物館研究報告』139 2008/3 pp.157-185
68. 「小笠原遠光・長清一門による将軍家菩提供養」『金沢文庫研究』320 2008/3 pp.24-34
69. 「生業から民衆生活史を深める」『生業から見る日本史』吉川弘文館 2008/3 pp.280-288
70. 「信濃国大井荘落合新善光寺と一遍(下)」『時衆文化』17 2008/4 pp.42-74
71. 「十一世紀東国における国衙支配と坂東諸国済例の形成」『論集東国信濃の古代中世史』岩田書院 2008/7 pp.83-118
72. 「天皇と仏教」歴史科学協議会編『天皇・天皇制を読む』東京大学出版会 2008/5 pp.56-59
73. 「神社史料の諸問題—諏訪神社関係史料を中心に」『国立歴史民俗博物館研究報告』148 2008/12 pp.249-268
74. 「甘露寺親長の儀式伝奏と別記『伝奏記』の作成」吉岡眞之・小川剛生編『禁裏本と古典学』塙書房 2009/3 pp.213-274
75. 「庶民の大事・善光寺信仰を広めた聖たち」田中欽一責任編集『善光寺大紀行』一草舎 2009/3 pp.67-94
-

-
76. 「公家史料にみる外記の宣旨発給と吉良満義の信州発向」『信濃』61-12 2009/12 pp.1-18
 77. 「中世における触穢と精進法をめぐる天皇と民衆知」『国立歴史民俗博物館研究報告』157 2009/3 pp.213-247
 78. 「日本中世における城と領主権力の二面性」小島道裕編『武士と騎士—日欧比較中近世史の研究—』思文閣出版 2010/3 pp.201-224
 79. 「中世禁裏の宸筆御八講をめぐる諸問題と『久安四年宸筆御八講記』」『国立歴史民俗博物館研究報告』160 2010/12 pp.207-221
 80. 「生業の古代中世史と自然観の変遷」秋道智弥編『日本の環境思想の基層』岩波書店 2012/3 pp.118-154
 81. 「民衆知としての生業論」平川南編『環境の日本史1 日本史と環境』吉川弘文館 2012/11 pp.166-201
 82. 「中世の生業・技術・呪術」井原今朝男編『環境の日本史3 中世の環境と開発・生業』吉川弘文館 2013/3 pp.290-323
 83. 「室町・戦国期の天皇裁判権とふたつの官僚制」『国立歴史民俗博物館研究報告』178 2013/3 pp.305-328
 84. 「生業論からみた富と貧困の淵源」『富と貧困』竹林舎 2013/3 pp.523-552
 85. 「加賀と美濃の軽海郷について」『加能史料会報』24 2013/3 pp.1-6
 86. 「公家史料の申沙汰記」倉本一宏編『日記の総合的研究』思文閣出版 2014/3
 87. 「中世における生業とコモنز」秋道智弥編『日本のコモنز思想』岩波書店 2014/3

V 書評

[新聞書評]

1. 書評「網野善彦・石井進編『中世の都市と墳墓』」『信濃毎日新聞』1989/10/8 読書欄
2. 書評「古橋信孝編『ことばの古代生活誌』」『信濃毎日新聞』1989/7/2 読書欄
3. 書評「細川涼一著『女の中世』」『信濃毎日新聞』1989/11/19 読書欄
4. 書評「大隅和雄・西口順子編『女性と仏教 尼と尼寺』」『信濃毎日新聞』1990/1/14 読書欄
5. 書評「栗岩英治著『栗岩英治日記』」『信濃毎日新聞』1990/4/29 読書欄
6. 書評「永原慶二著『新木綿以前のこと』」『信濃毎日新聞』1990/5/27 読書欄
7. 書評「今谷明著『室町の王権』」『信濃毎日新聞』1990/10/21 読書欄
8. 書評「五味文彦著『吾妻鏡の方法』」『信濃毎日新聞』1990/11/25 読書欄
9. 書評「小川光暢著『昔からあった日本のベット』」『信濃毎日新聞』1991/1/13 読書欄
10. 書評「石井進著『中世を読み解く—古文書入門』」『信濃毎日新聞』1991/2/24 読書欄
11. 書評「網野善彦著『日本の歴史をよみなおす』」『信濃毎日新聞』1991/3/24 読書欄
12. 書評「荒井信一著『世紀史を伝える』」『信濃毎日新聞』1991/5/5 読書欄
13. 書評「奈良国立文化財研究所著『平城京長屋王邸宅と木簡』」『信濃毎日新聞』1991/6/16 読書欄
14. 書評「松山宏著『中世城下町の研究』」『信濃毎日新聞』1991/8/25 読書欄
15. 書評「坂本賞三著『藤原頼通の時代』」『信濃毎日新聞』1991/10/6 読書欄
16. 書評「佐藤和彦著『太平記を読む』」『信濃毎日新聞』1991/12/22 読書欄
17. 書評「町田章・鬼頭清明編『古代の日本近畿Ⅱ』」『信濃毎日新聞』1992/2/9 読書欄
18. 書評「網野善彦著『海と列島の中世』」『信濃毎日新聞』1992/3/15 読書欄
19. 書評「樺山紘一著『世界史への扉』」『信濃毎日新聞』1992/5/24 読書欄
20. 書評「永原慶二著『室町戦国の社会』」『信濃毎日新聞』1992/7/26 読書欄
21. 書評「荒野泰典・石井正敏・村井章介編『アジアのなかの日本史Ⅰ』」『信濃毎日新聞』1992/10/4 読書欄
22. 書評「網野善彦著『職人歌合』」『信濃毎日新聞』1993/1/24 読書欄
23. 書評「小林達雄・原秀三郎編『古代の日本 中部』」『信濃毎日新聞』1993/2/21 読書欄
24. 書評「一遍研究会編『一遍聖絵と中世の光景』」『信濃毎日新聞』1993/3/28 読書欄
25. 書評「村井章介著『中世倭人伝』」『信濃毎日新聞』1993/6/13 読書欄
26. 書評「笹本正治著『戦国大名武田氏の研究』」『信濃毎日新聞』1993/8/29 読書欄

-
27. 書評「早川庄八著『続日本紀』」『信濃毎日新聞』1993/9/26 読書欄
 28. 書評「戸田芳実編『中世の生活空間』」『信濃毎日新聞』1993/10/24 読書欄
 29. 書評「佐藤進一・網野善彦・笠松宏至著『日本中世史を見直す』」『信濃毎日新聞』1994/3/27 読書欄
 30. 書評「矢部良明著『日本陶磁の一万二千年』」『信濃毎日新聞』1994/5/8 読書欄
 31. 書評「木村礎著『戦前・戦後を歩く』」『信濃毎日新聞』1994/6/5 読書欄
 32. 書評「中村生雄著『日本の神と王権』」『信濃毎日新聞』1994/7/10 読書欄
 33. 書評「本多隆成著『大谷探検隊と本多恵隆』」『信濃毎日新聞』1994/7/31 読書欄
 34. 書評「網野善彦著『日本社会再考』『中世の非人と遊女』」『信濃毎日新聞』1994/9/11 読書欄
 35. 書評「木村茂光著『平安京くらしと風景』」『信濃毎日新聞』1994/10/23 読書欄
 36. 書評「藤井恵介著『日本建築のレトリック』」『信濃毎日新聞』1994/11/20 読書欄
 37. 書評「平川南著『よみがえる古代文書』」『信濃毎日新聞』1994/12/11 読書欄
 38. 書評「五味文彦著『絵巻で読む中世』」『信濃毎日新聞』1995/2/12 読書欄
 39. 書評「国立歴史民俗博物館編『中世都市十三湊と安藤氏』」『信濃毎日新聞』1995/3/19 読書欄
 40. 書評「伊藤喜良著『中世王権の成立』」『信濃毎日新聞』1996/3/24 読書欄
 41. 書評「網野善彦著『日本の歴史日本とはなにか』」『信濃毎日新聞』2000/11/5 読書欄
 42. 書評「義江彰夫著『歴史学の視座』」『週刊読書人』2003年4月4日号
 43. 書評「阿諏訪青美著『中世庶民信仰経済の研究』」『週刊読書人』2004年4月23日号
- [学会誌書評]
1. 書評「戸田芳実『中右記』横井清『看聞御記』」『歴史と地理』108 1980/3 pp.72-74
 2. 新刊紹介「田端泰子著『日本中世の女性』」『史学雑誌』97-6 1988/6 pp.102-103
 3. 書評「中野豊任著『祝儀・吉書・呪符』」『歴史学研究』597 1989/9 pp.34-37
 4. 書評と紹介「千々和到著『板碑とその時代』」『日本歴史』490 1989/3 pp.105-107
 5. 書評「峰岸純夫著『中世の東国』」『史学雑誌』99-6 1990/6 pp.92-101
 6. 新刊紹介「永原慶二著『新・木綿以前のこと』」『史学雑誌』99-11 1990/11 pp.106-107
 7. 書評「栗岩英治『栗岩英治日記』」『信濃』42-7 1990/7 pp.67-76
 8. 書評と紹介「黒坂周平先生の喜寿を祝う会編『信濃の歴史と文化の研究』」『日本歴史』521 1991/10 pp.116-17
 9. 書評「塚本学先生退官記念論文集刊行会編『古代・中世の信濃社会』」『歴史学研究』655 1994/2 pp.41-43
 10. 書評「工藤敬一著『荘園公領制の成立と内乱』」『日本史研究』382 1994/6 pp.78-86
 11. 書評「木村茂光著『日本古代・中世畠作史の研究』」『社会経済史学』60-3 1994/9 pp.84-88
 12. 書評「元木泰雄著『院政期政治史研究』」『日本史研究』416 1997/4 pp.104-109
 13. 書評「上杉和彦著『日本中世法体系成立史論』」『歴史学研究』702 1997/10 pp.43-45
 14. 書評「美川圭著『院政の研究』」『史林』80-6 1997/11 pp.87-94
 15. 書評「稲葉伸道著『中世寺院の権力構造』」『年報中世史研究』23 1998/5 pp.120-131
 16. 書評「服藤早苗著『平安朝の家と女性』」『歴史学研究』715 1998/10 pp.45-47
 17. 書評「盛本昌広著『日本中世の贈与と負担』」『日本史研究』437 1999/1 pp.57-66
 18. 書評と紹介「千葉県史料研究財団編『千葉県の歴史 資料編 中世2』」『日本歴史』610 1999/3 pp.131-133
 19. 書評と紹介「本郷恵子著『中世公家政権の研究』」『日本歴史』615 1999/8 pp.104-106
 20. 書評「永原慶二著『荘園』」『社会経済史学』65-3 1999/9 pp.85-86
 21. 書評「寶月圭吾著『中世日本の売券と徳政』」『古文書研究』50 1999/11 pp.149-151
 22. 書評「金井静香著『中世公家領の研究』」『歴史学研究』748 2001/4 pp.62-65
 23. 書評「高橋昌明著『武士の成立 武士像の創出』」『社会経済史学』67-1 2001/5 pp.87-89
 24. 書評「国立歴史民俗博物館監修『歴博万華鏡』」『歴史と地理』542 2001/3 pp.58-59
 25. 書評と紹介「佐藤健治著『中世権門の成立と家政』」『日本歴史』639 2001/8 pp.108-110
-

26. 書評「百瀬今朝雄著『弘安書札礼の研究』」『歴史評論』626 2002/6 pp.82-88
27. 書評「川端新著『莊園制成立史の研究』」『史林』85-5 2002/9 pp.138-145
28. 書評「阿部浩一著『戦国期の徳政と地域社会』」『歴史学研究』771 2003/1 pp.45-48
29. 書評「砂川博編『一遍聖絵の総合的研究』」『時衆文化』7 2003/4 pp.135-151
30. 書評「北島万次著『壬辰倭乱と秀吉・島津・李舜臣』」『歴史評論』645 2004/1 pp.93-97
31. 書評「千葉県『千葉県の歴史 資料編 中世4 県外文書I』」『千葉県史研究』12 2004/3 pp.56-60
32. 書評「岡野友彦著『中世久我家と久我家領荘園』」『古文書研究』59 2004/9 pp.114-115
33. 書評と紹介「細田貴助著『県宝守矢文書を読む』」『日本歴史』678 2004/11 pp.118-121
34. 書評「上田市誌編纂委員会編『上田市誌 歴史編1-10』」『信濃』57-8 2005/8 pp.65-72
35. 書評「山岸常人『中世寺院の僧団・法会・文書』」『歴史学研究』809 2005/10 pp.44-47
36. 書評「金井清光著『一遍聖絵新考』」『時衆文化』13 2006/4 pp.110-126
37. 書評「告井幸男著『摂関期貴族社会の研究』」『歴史評論』677 2006/3 pp.91-94
38. 書評「松蘭斎著『王朝日記』」『歴史評論』692 2007/12 pp.64-68
39. 書評「遠藤基郎『中世王権と王朝儀礼』」『歴史学研究』870 2010/9 pp.43-47
40. 書評「勝山清次『中世伊勢神宮成立史の研究』」『日本史研究』577 2010/9 pp.75-81
41. 書評「黒田基樹著『戦国期の債務と徳政』」『史学雑誌』120-1 2011/1 pp.69-76
42. 書評「伊藤俊一著『室町期荘園制度の研究』」『歴史評論』741 2012/1 pp.94-99
43. 書評「上島享著『日本中世社会の形成と王権』」『史林』95-5 2012/9 pp.63-68

VI 研究ノート・評論・報告

1. 「第一回長野県史荘園遺構調査・伴野大井両荘における佃について」『長野県史たより』2 1983/1 pp.1-3
2. 「屋代城をめぐる中世の更埴地方」『ちようま』4 1983/11 pp.66-85
3. 『伴野荘の荘園支配と伴野館址』冊子 伴野氏館跡保存会 1985/12 pp.1-27
4. 「千々和報告「改元と私年号」を聞いて」『歴史評論』481 1990/5 pp.86-88
5. 「現代社会の激動と歴史の継承」『まほろばニュース』60 1991/11 pp.1-3
6. 「市沢報告を聞いて—公家政権論の課題—」『日本史研究』357 1992/5 pp.31-34
7. 「東国の商人集団の構造の研究」科研成果報告書『中世・近世初頭東国における市町場および都市の総合的研究』（研究代表竹内誠）1993/3 pp.51-62
8. 「太田荘南郷・石村郷の調査について」『信濃国太田荘荘園調査報告書』1 長野県豊野町教育委員会 1994/11 pp.1-19
9. 「長野県立歴史館コレクションの特徴」『博物館研究』322 1995/3 pp.49-51
10. 「文書からみた屋代氏の動向」『長野県更埴市屋代城跡範囲確認調査報告書』更埴市教育委員会 1995/3 pp.72-88
11. 「歴史博物館と新しい地方史研究の課題」『長野県立歴史館研究紀要』1 1995/3 pp.15-32
12. 「寶月圭吾研究資料・中世売券について」『長野県立歴史館研究紀要』2 1996/3 pp.86-91
13. 「韓国における史料編纂・保存・公開・展示の現状」『長野県立歴史館研究紀要』2 1996/3 pp.106-111
14. 「韓国の倭城を訪ねて」『歴史地理教育』550 1996/7 pp.58-63
15. 「屋代木簡と万葉集」『会誌やしろ』3 1996/11 pp.3-6
16. 「楽しく体感できる歴史展示を」『博物館研究』32-11 1997/11（棚橋賞）pp.23-29
17. 「長野県立歴史館所蔵の中世文書について」『古文書研究』46 1997/9 pp.70-76
18. 「地方史研究の現状 長野県」『日本歴史』592 1997/9 pp.37-39, 50-56
19. 「絵巻に中世善光寺をよむ——遍上人絵伝と善光寺縁起絵——」『信州の文化』4 1997 pp.21-36
20. 「為替と宋銭」『信州の文化』5 1998 pp.3-27
21. 「貨幣から中世社会を探る」『平出博物館ノート』12 1998/3 pp.19-28
22. 「信濃国広瀬荘域における仏像調査報告」『市誌研究ながの』6 1999/1 pp.1-34
23. 「市河文書との対話」『本間美術館だより』8 2002/2 pp.2-4

-
24. 「中世の環境変化と生活史」『平出博物館ノート』16 2002/3 pp.22-40
 25. 「歴史を掘り起こすこと」セーラ・カミングス編『小布施ッション 2001-2002』日経 BP 出版センター 2002/8 pp.109-126
 26. 「伊那谷の歴史的特質と文化財」『伊那谷の文化財』飯田市美術博物館展示図録 2002/10 pp.6-12
 27. 「密教と儀礼」「地方寺院の国家儀礼」「外交僧天与清啓の世界」『中世寺院の姿とくらし』国立歴史民俗博物館展示図録 2002/2 pp.34-62
 28. 「戦国期印章台帳・甲信越地方・中世の印章と出納文書について」科研研究成果報告書『戦国期印章・印判状に関する総合的研究』（研究代表有光有学）2004/3 pp.49-65
 29. 「天皇・院と芸能」「天皇作法と管弦・和歌」「諸芸能の道と書の家」「信仰と和歌」「連歌師」「宮廷文化と知の集積」「中世の御遊」「禁裏による知の集積」『うたのちから—和歌の時代史』国立歴史民俗博物館展示図録 2005/10
 30. 「中世の日記」『歴博』131 2005/7 pp.2-5
 31. 「もの資料から生まれる新たな視点—国立歴史民俗博物館の展示と研究」『総研大ジャーナル』7 2005/7 pp.38-41
 32. 「16世紀～17世紀内陸部の流通と社会背景」第1回内陸遺跡研究会シンポジウム資料集『海なき国々のもととヒトの動き』2005/11 pp.1-27
 33. 「大会報告批判 岡野友彦・小川弘和中世史部会」『歴史学研究』809 2005/12 pp.42-44
 34. 「債券としての中世請取状」104 回史学会大会報告『史学雑誌』116-1 2007/1 p.106
 35. 「近世禁裏文庫と文明期廷臣の書写活動—「三長記」「禁秘抄」を例として」『人間文化研究機構連携研究文化資源の高度活用 中世近世の禁裏の蔵書と古典学の研究 研究調査報告』2 2007/3 pp.31-43
 36. 『中世史料からみた諏訪大祝と諏訪信仰の変遷』全国諏訪神社連合会講演集第7輯 2007/10 pp.1-23
 37. 「書きかえられた戦国社会像をよみとく」『武田・上杉・信濃武士』長野県立歴史館展示図録 2007/10 pp.91-93
 38. 「甘露寺親長による次第書・家記の書写活動と文正・明応期廷臣の職掌について—室町期公家の禁裏小番と家産経済—」科研研究成果報告書『高松宮家蔵書群の形成とその性格に関する総合的研究』（研究代表吉岡真之）2008/3 pp.1-59
 39. 「武家資料の総合化—屋代家資料の全体像—」人間文化研究機構 連携研究中間報告書『武家関係資料の総合化—比較史および異文化表象の素材として—』（研究代表者小島道裕）2008/3 pp.13-44
 40. 「中世天皇の即位式準備と財政帳簿」『歴博』150 2008/9 pp.2-4
 41. 「新出史料からみた信濃国上小地域の中世社会史」『上田・東御・小県地域史連絡協議会講演会記録』2008 pp.1-13
 42. 「平安時代の高井郡—芳実御厨と中世武士の台頭—」『須高』67 2008/10 pp.41-67
 43. 「債務史からみた現代の借金事情」『本郷』吉川弘文館 2009/1 pp.22-24
 44. 「東条荘と井上・高梨氏の台頭」『須高』68 2009/4 pp.1-19
 45. 「真田氏二代の閨閥」『歴史読本』838 2009/4 pp.78-83
 46. 「井上・高梨・須田・村山氏の台頭と一族—高井地方の中世史3—」『須高』69 2009/10 pp.23-48
 47. 「中世禁裏の地下官人史料」『歴博』156 2009/9 pp.20-23
 48. 「史料からみた大頭祭と八幡宮」『長野県千曲市武水別神社大頭祭民俗文化財調査報告書』2010/3 pp.544-556
 49. 「室町將軍足利義政と井上・須田・高梨氏の一門評定—高井地方の中世史4—」『須高』70 2010/4 pp.1-32
 50. 「地域史の研究と市河文書の活用」『長野県立歴史館研究紀要』16 2010/3 pp.2-12
 51. 「徳川家康と依田信蕃・康国—佐久郡の戦国・織豊期について」長野県立歴史館『武士の家宝』2011/5 pp.34-37
 52. 「高梨氏の戦国大名化と信越国境—高井地方の中世史5—」『須高』72 2011/4 pp.1-36
 53. 「「街道と宿場」以前の「中世の旅」丹波古陶館」『紫明』28 2011/3 pp.2-8
-

-
54. 「真田信之と信繁」『歴史読本』870 2011/12 pp.76-81
55. 「日本人の老いと死の考え方」『大法輪』平成24年3月号 2012/1 pp.54-58
56. 「戦国織豊期の高井郡と高梨・須田氏の動静(上)」『須高』74 2012/4 pp.1-35
57. 「中世・近世料紙の年代研究についての調査報告」『国立歴史民俗博物館研究報告』176 2012/12 pp.151-160
58. 「総説 富と貧困」『富と貧困』竹林舎 2013/3 pp.9-22
59. 「戦国織豊期の高井郡と高梨・須田氏の動静(下)」『須高』76 2013/4 pp.1-45
60. 「中世公家における家政と文書」『企画展示中世の古文書』(国立歴史民俗博物館図録)2013/10 pp.200-201
61. 「徳政令」高橋典幸編『週刊新発見 日本の歴史20 鎌倉時代3』朝日新聞出版 2013/11 pp.18-19

Ⅶ 連載

1. 「信濃の中世史を歩く」『信濃毎日新聞夕刊文化欄』1987/7～1989/3
「市の景観」(1987/7/7) 「市に集う」(1987/7/14) 「離婚の代償」(1987/7/21) 「夫婦愛」(1987/8/4)
「女性たち」(1987/9/1) 「死の作法」(1987/10/6) 「無縁仏葬送と聖」(1987/10/20) 「墓地と死生観」
(1987/11/10) 「都市の雑芸人」(1987/12/9) 「郷村の芸能」(1987/12) 「寺の高利貸」(1988/1) 「寺
と社会事業」(1988/2/9) 「医療と寺」(1988/2) 「孤児と生む社会」(1988/3) 「主従関係」(1988/4)
「子供を神に」(1988/6) 「居館の景観」(1988/7) 「屋敷を構える」(1988/8/6) 「京風庭園の屋敷」
(1988/8/13) 「商人浄阿」(1988/9) 「遍歴する大和職人」(1988/10) 「善光寺仏師妙海」(1988/10/22)
「村の景観」(1988/11/7) 「村を掘る」(1988/11/14) 「地名を求めて」(1988/11/26) 「平安時代から
の領主」(1988/12/3) 「神罰の恐怖」(1988/12/10) 「領主の栄枯盛衰」(1988/12/24) 「中世官吏の接
待」(1989/1) 「農民の夫役」(1989/1) 「百姓の仁王像」(1989/2) 「若狭の海」(1989/2/6) 「陸奥の
居館」(1989/2/20) 「薩摩への輸送」(1989/3) 「中国への旅」(1989/3/14) 「朝鮮への道」(1989/3/20)
「シリーズを終えて」(1989/3/31 完)
2. 「中世寺院僧侶その実像」『寺門興隆』興山舎 2004/9～現在継続中
70号 2004/9 pp.82-88 71号 pp.88-94 72号 pp.102-108 73号 pp.109-115 74号 pp.106-112 75号 pp.94-100
76号 pp.98-103
「中世寺院僧侶その実像(8)～(19)」『寺門興隆』
77号 pp.106-110 78号 pp.110-116 79号 pp.102-108 80号 pp.105-111 81号 pp.116-122 82号 pp.112-118
83号 pp.108-114 84号 pp.103-109 85号 pp.99-104 86号 pp.111-117 87号 pp.107-113 88号 pp.91-97
「中世寺院僧侶その実像(20)～(31)」『寺門興隆』
89号 pp.101-107 90号 pp.111-117 91号 pp.109-115 92号 pp.114-120 93号 pp.106-113 94号 pp.122-128
95号 pp.106-111 96号 pp.115-211 97号 pp.105-111 98号 pp.105-111 99号 pp.109-115 100号 pp.109-114
「中世寺院僧侶その実像(32)～(42)」『寺門興隆』
101号 pp.108-114 102号 pp.110-116 103号 pp.114-121 104号 pp.114-120 105号 pp.112-118 106号 pp.102-109
107号 pp.114-121 108号 pp.112-119 109号 pp.112-118 110号 pp.110-116 111号 pp.112-118
「中世寺院・僧侶の実像(43)～(52)」『寺門興隆』
112号 pp.108-114 113号 pp.114-120 114号 pp.114-120 115号 pp.108-114 116号 pp.106-111 117号 pp.104-110
118号 pp.95-101 119号 pp.108-113 120号 pp.108-114 121号 pp.111-117
「中世寺院・僧侶の実像(53)～(64)」『寺門興隆』
122号 pp.110-116 123号 pp.101-107 124号 pp.99-105 125号 pp.103-109 126号 pp.95-101 127号 pp.113-119
128号 pp.114-120 129号 pp.107-113 130号 pp.99-105 131号 pp.111-117 132号 pp.111-117
133号 pp.112-118

「中世寺院・僧侶の実像 (65)～(76)」『寺門興隆』

134号 pp.113-119 135号 pp.104-110 136号 pp.98-104 137号 pp.120-126 138号 pp.109-115 139号 pp.109-115 140号 pp.102-109 141号 pp.118-123 142号 pp.118-124 143号 pp.115-121 144号 pp.119-125 145号 pp.125-131

「中世寺院・僧侶の実像 (77)～(88)」『寺門興隆』

146号 pp.126-131 147号 pp.118-124 148号 pp.112-118 149号 pp.124-130 150号 pp.110-116 151号 pp.116-122 152号 pp.120-126 153号 pp.120-126 154号 pp.116-122 155号 pp.110-116 156号 pp.122-128 157号 pp.114-120

「中世寺院・僧侶の実像 (89)～(103)」『寺門興隆』

158号 pp.124-130 159号 pp.116-122 160号 pp.116-122 161号 pp.114-120 162号 pp.116-122 163号 pp.112-118 164号 pp.122-128 165号 pp.134-140 166号 pp.114-120 167号 pp.118-124 168号 pp.124-130 169号 pp.116-122 170号 pp.130-136 171号 pp.138-144 172号 pp.122-128

「中世寺院・僧侶の実像 (104)～(111)」『寺門興隆』

173号 pp.130-136 174号 pp.123-129 175号 pp.127-133 176号 pp.123-129 177号 pp.127-133 178号 pp.125-131 179号 pp.131-137 継続中 (『住職』と改名)

3. 「連載 善光寺 1400年の旅」『長野市民新聞』2008/8/30-10/4

「頼朝による再建」(8月30日号) 「東大寺と同一時期に再建」(9月6日号) 「2つの参詣路」(9月13日号) 「門前と雑芸人」(9月20日号) 「中世の社会的弱者」(9月27日号) 「海外との貿易」(10月4日号) (完)

4. 「連載 金融今昔 1～9」『月刊金融ジャーナル』金融ジャーナル社 2011/4-2012/3

653号 (1)借金の始まりは稲作 p90 654号 (2)利息は元本の一倍まで p60 655号 (3)天平の金融規制法 p62 656号 (4)鎌倉期の不動産質規制法 p50 657号 (5)鎌倉期の人身売買禁止令 p54 658号 (6)中世の借金システム p58 659号 (7)中世の信用取引 p58 660号 (8)中世の借金裁判は時効も p50 661号 (9)14世紀の貸手と借り手 p58

「連載 金融今昔 10-19」『月刊金融ジャーナル』金融ジャーナル社 2012/1-2013/3

663号 (10)室町期貸し手保護へ p62 664号 (11)日明貿易は投資型冒険商業 p102 665号 (12)室町期金融システムの発展 p100 666号 (13)江戸期両替商の台頭 p106 667号 (14)近世の質地契約 p94 668号 (15)江戸の相対済令・棄捐令 p90 669号 (16)江戸の無尽・頼母子 p96 670号 (17)大坂米市場—延取引の発達 p90 671号 (18)江戸期高利貸の台頭 p116 672号 (19)明治の利息制限法 p84 673号 (20)銀行制度の導入 p84 674号 (21)明治の地主金融 p84 676号 (22)戦後の金融制度改革 p92 677号 (23)住宅ローン拡大とサラ金の盛衰 p94 678号 (24)国際金融危機の時代 p80 (完)

VIII 辞典類・項目執筆

- 湯本軍一・磯貝正義編『日本城郭大系』第8巻長野山梨 1980/10 「城郭解説 福島正則屋敷」ほか19城 pp.68-77 pp.80-97 pp.102-110, 「文献・史籍解題」 pp.304-307
- 守矢一彦編『浅野文庫蔵諸国古城之図』新人物往来社 1981/12 信濃国 pp.219-21
- 長野県高等学校教育文化会議社会科教育研究会編『史料が語る長野の歴史 60話』三省堂, 1989/7 「中世プロローグ」 p46 「中世のこどもたち」 p92
- 『日本史大事典』平凡社 1992-97 「生島足島神社文書」「市河文書」「太田荘」「小笠原文書」「麻績御厨」「木曾氏」「木曾義昌」「諏訪神社文書」「春近」「知久氏」
- 佐藤和彦ほか編『日本中世史研究辞典』東京堂出版 1995/6 292 「年貢と国役」 pp.64-65
- 阿部猛ほか編『日本古代史研究辞典』東京堂出版 1995/9 338 「荘園文書」 pp.310-312 「文書様式論」 pp.317-320
- 『角川日本史辞典』角川書店 1996/11 「三斎市」「寺社本所法」「平信範」「千曲川」「戸隠神社」「本主権」「本所一円地」「本所法」「本所領」「望月氏」「望月牧」
- 小和田哲男編『戦国大名閥閥事典第1巻』新人物往来社 1996/11 「真田氏」 pp.148-178

-
9. 佐藤和彦編『日本史小百科 租税』東京堂出版 pp.262 1997/7 「年貢」「公事」「夫役」 pp.41-46
 10. 阿部猛・佐藤和彦編『日本荘園大辞典』東京堂出版 1997/9 「海野荘」「太田荘」「佐久伴野荘」「望月牧」「依田荘」
 11. 青木美智男・木村茂光編『教員になる人のための日本史』新人物往来社 1998/9 「中世史のポイント」 pp.89-103
 12. 『日本歴史大辞典』小学館 2000 「公家領」「公文」「公事」「家領」「荘官」「撰閥家領」「撰閥家大番領」「納所」「巡御菜」「職事補任」「執政所抄」「市目代」「軍事制度」「足利家時」「貞氏」「義氏」「真田氏」「泉親衡の乱」「大田荘」「釜師」「給役」「諏訪神社文書」「節料」「大工」「伴野荘」「塗師」「一志茂樹」「根小屋」「保科氏」「木曾山」「妻籠」「長野」「松本」「長野県」
 13. 『歴史学事典 第8巻 人と仕事』弘文堂 2001/2 「下人」「名主」「家司」
『歴史学事典 第9巻 法と秩序』弘文堂 2002/2 「公家法」「国衙法」「国例」「公家新制」「武家新制」
『歴史学事典 第10巻 身分と共同体』弘文堂 2003/2 「家計」「無尽・頼母子」
『歴史学事典 第12巻 王と国家』弘文堂 2005/3 「権門体制」「院」「治天の君」「年貢」
『歴史学事典 第13巻 所有と生産』弘文堂 2006/4 「質」「質取」「人質」
 14. 『日本史文献事典』弘文堂 2003/12 「日本中世の国政と家政」「荘園志料」
 15. 『荘園史大辞典』吉川弘文館 2003/3 「長日厨」「調度文書」「庁分田」「徴物使」「直営田」「ちりかかり」「月宛兵士」「付物汰」「付物米」「坪分中分」「坪付帳」「摘田」
 16. 花ヶ崎盛明編『直江兼続大辞典』新人物往来社 2008/12 「小笠原長時」「立岩喜兵衛」「屋代秀正」「李舜臣」「釜山港」「小鷹丸」「熊川茶碗」「熊川倭城」「海津城」「釜山倭城」「目楚城」「文祿の役」「碧蹄館の戦」
 17. 木村茂光編『戦後歴史学用語辞典』東京堂出版 2012/7 「年貢と加地子」

Ⅸ レビュー・コラム・短文

1. 「中世金石文の判読二題」『長野県史だより』5 1984/7 p8
2. 「寶月圭吾先生を偲んで」『信濃教育』1213 1987/12 pp.4-6
3. 「文書を中世の現地で読むこと」『千葉史学』13 1988/11 pp.5-6
4. 「歴史に学ぶこと」『郷土を知る会』85 1993/11 p1
5. 「善光寺大工と西山文化の一断面」『郷土を知る会』89 1985/2 p1
6. 「県下回顧 歴史 体験地域文化の拠点に」『信濃毎日新聞』1992/12/19 文化欄
7. 「県下回顧 歴史 街づくり結び関心」『信濃毎日新聞』1993/12/20 文化欄
8. 「県下回顧 歴史 歴史館オープン」『信濃毎日新聞』1994/12/20 文化欄
9. 「善光寺本堂」『文化庁月報』310 1994/7 pp.20-21
10. 「中世国家史研究の一断面」『信濃毎日新聞』1995/6/22 文化欄
11. 「治天の君と天皇撰閥の関係」『歴史読本』1995/6月号 p95
12. 「韓国国際会議と倭城調査」『信濃毎日新聞』1995/11/21 文化欄
13. 「信州史発見 諏訪神宮寺の秘宝と歴史」『信濃毎日新聞』1996/10/29 文化欄
14. 「信州史発見 中世の善光寺門前と発掘調査」『信濃毎日新聞』1996/11/19 文化欄
15. 「信州史発見 戸隠神社再興と上杉朝鮮出兵」『信濃毎日新聞』1997/2/11 文化欄
16. 「中世直江津と朝鮮との「交流」」『広報じょうえつ』1997/6/15号 p11
17. 「古代出雲神話と諏訪神社の成立」『長野日報』1998/1/26
18. 「諏訪信仰の祭りと文化」『信濃毎日新聞』1998/10/15 文化欄
19. 「鳥羽院庁下文をめぐる思い出」『長野県立歴史館たより』15 1998/7
20. 「十州に接した列島の十字路」pp.130-131『週刊朝日百科 日本の国宝 85』朝日新聞社 1998/10
21. 「中世春近領について」pp.3-23「奥春近領について」pp.77-82伊那市教育委員会編『信濃の牧・春近領・宿場』伊那市 1999/10
22. 「日本中世史と信濃」『一九（一休）会通信』創刊号 1999/4/15 pp.3-4
23. 「日本史学 基本軸の転換に向けて上下」『信濃毎日新聞』1999/10/25-26 文化欄

-
24. 「列島の縦断路」『歴史書通信』126 1999/10 pp.2-4
 25. 「歴博対談 結城合戦図をめぐる」『歴博』92 1999/1 pp.18-23
 26. 「木曾義仲の栄華と悲劇 新修資料の公開」『千葉日報』2000/2/3 文化欄
 27. 「木曾義仲合戦図屏風」『歴博』100 2000/5
 28. 「庶民に浸透していた仏教」『しんぶん赤旗』2002/10/18 文化欄
 29. 「序文」飯塚政美著『伊那周辺の城館跡と村落』ぎょうせい, 2002/5
 30. 「中世の対照的な歴史景観」『信濃毎日新聞』2003/3/11 文化欄
 31. 「歴博けんきゅう便・中世寺院の生活と文化」『歴博』117 2003/3 pp.26-27
 32. 「越後府中と交通」『広報じょうえつ 市史編さんたより』189 2004/3 p19
 33. 「人文・社会科学の未来を開くために」『まほろばニュース』185 2004/5 pp.2-3
 34. 「歴博国際研究集会・中世城郭の社会的機能—その日欧比較—」『歴博』126 2004/9 pp.24-25
 35. 「中近世における生業と技術・呪術信仰」『歴博』140 2007/1 pp.24-25
 36. 「借り手に優しい? 中世日本」『日本経済新聞』2009/4/7 文化欄
 37. 「信濃史料の今日的意義」『信濃毎日新聞社』2009/8/11 文化欄
 38. 「関東武士 運慶のパトロン」『週刊朝日百科 国宝の美 27 彫刻 10 運慶と康慶』朝日新聞出版 2010/2 pp.30-31
 39. 「社会経済史学と史料批判学の課題」『歴博』159 2010/3 pp.26-27
 40. 「文字に残る音声と記憶の発見」渡辺滋著『古代中世の情報伝達』八木書店 2010 推薦文
 41. 「口絵年未詳十二月二五日大宮時元書状土代」『日本歴史』748 2010/9 口絵写真裏
 42. 「中世仏教に新たな視点」『中外日報』2011/7/26
 43. 「コラム 公家が室町殿を訪問する作法」『歴博』164 2011/1 p5
 44. 「自著紹介 中世借金事情」『歴博』166 2011/6 p30
 45. 「セピア色の静岡」『富嶽』（静岡大学文理人文学部同窓会東京支部会報）通巻 40 2011/12/20 p6
 46. 「特集古典籍再発見—史料群再発見の視角」『歴博』178 2013/6 p1
-